

イサム・ノグチ TOOLS

Isamu Noguchi: Tools



1 | ニューヨークのマクドゥガル・アレーのスタジオにて (1946年)

名称	イサム・ノグチ TOOLS
会期	2023年3月4日(土)～5月7日(日)
会場	竹中大工道具館 1F ホール
開館時間	9:30～16:30 (入館は16:00まで)
休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日)
入館料	一般700円、大高生・65歳以上の方500円、中学生以下無料 ※常設展観覧料を含む
主催	竹中大工道具館、KOSMOS 実行委員会
後援	アンステイチュ・フランセ日本、神戸新聞社
協力	イサム・ノグチ日本財団、イサムノグチ財団・庭園美術館 (ニューヨーク)、 オゼキ、ヴィラ九条山、カンディハウス
公式サイト	https://www.dougukan.jp/special_exhibition/isamunoguchitools

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期やイベント情報が変更となる可能性があります。最新の情報は公式サイトをご確認ください。

開催趣旨

20世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチ（1904-1988）。彼は、木や石はもちろん、金属や粘土、時には紙など、さまざまな素材を用いて作品制作に取り組んだことでも知られています。その幅広い創作活動は、少年時に茅ヶ崎の自宅「三角の家」を新築する際に知り合った大工から木工の手ほどきを受け、道具一式を携えて太平洋を渡った時にすでに始まっていたと言えるでしょう。

彼が用いた道具の一部はニューヨークのノグチ・ミュージアムに保存されています。それらは西洋の道具と日本の道具が入り混じったものであり、日本人の父とアメリカ人の母のもとに生まれ、東西ハイブリッドな個性を有したノグチらしい国際的なコレクションになっています。

ノグチは最終的に花崗岩や玄武岩などの硬い石を用いた彫刻にたどり着き、アトリエを香川県の牟礼町に築きます。それは硬い石を加工できる石工の職人技を求めた結果でもありました。本展では、実際にノグチが使用した「道具」を通して、作品の制作過程において「素材」と「技術」がいかに密接に関係していたのかを紐解いていきます。

展示の見どころ

ニューヨークに保存された貴重な道具や映像を展示

本展の展示品総数は約 60 点を予定。なかでもニューヨークのノグチ・ミュージアムに保存されている道具や映像たちの展示は、ノグチらしい国際的なコレクションを日本で見るまたとない機会です。



2 | イサム・ノグチが用いた大工道具（銅）

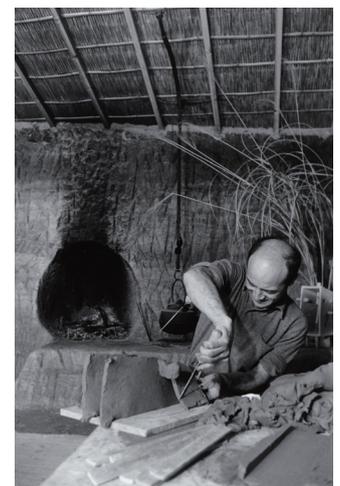
〈あかり〉の製作映像と道具を展示

〈あかり〉を提灯ではなく「光の彫刻」だと考えたイサム・ノグチ。

イサム・ノグチの彫刻作品として、また世界に類のない照明器具として世界中に広がっていった〈あかり〉の製作映像となかなか見ることのできない道具を展示します。

ニューヨークの
イサム・ノグチ財団・庭園美術館
シニアキュレーターによる
来日講演会を開催

ニューヨークのイサム・ノグチ財団・庭園美術館でシニアキュレーターを務めるデイキン・ハート氏をお招きし、イサム・ノグチと道具について語っていただきます。



3 | 粘土を加工するイサム・ノグチ
The Noguchi Museum Archives, 03804.
©The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum,
New York / ARS - JASPAR

主な
展示
品



4 | イサム・ノグチが用いた石工道具



5 | パリ滞在時に用いたフランス製鋸ヤスリ



6 | 作業時に装用したゴーグル



7 | 西洋式の木工具 (台鉋)



8 | 西洋式の木工具 (セン)



9 | <あかり>の製作道具 (オゼキ社提供)



10 | 光の彫刻<あかり>

関連イベント

※イベントの日時・内容は変更になることがあります。
最新の情報は「イサム・ノグチ TOOLS」展公式ウェブサイトにてご確認ください。

講演会

イサム・ノグチ — その彫刻と道具

日時	2023年4月22日(土) 13:30～15:00(13:00開場)
場所	デザイン・クリエイティブセンター神戸〈KIITO〉303 神戸市中央区小野浜町1-4
講師	Dakin Hart (イサム・ノグチ財団・庭園美術館シニアキュレーター)
聞き手	倉島美和子 (*folding cosmos デザイナー・ディレクター KOSMOS 実行委員会代表)
定員	90名(ウェブサイトからの事前申込必要)
参加費	無料
申込締切	3月31日(金)

関連イベント申し込み方法

公式サイト (https://www.dougukan.jp/special_exhibition/isamunoguchitools) 内よりお申し込みください。



広報用画像

- ・画像データ1～10(JPEG)をご提供いたします。メールにてお申し込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ・画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさないでください。
- ・掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局までFAX送信ください。
- ・お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

お問い合わせ

「イサム・ノグチ TOOLS」展広報事務局(竹中大工道具館内)

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1

TEL: 078-242-0216 FAX: 078-241-4713

E-mail: isamunoguchitools@dougukan.jp

- ・読者プレゼントとして本展図録5部または当館招待券ペア(2枚)5組を提供することができます。
- ・その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。

当館のご案内



日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」は、大工道具を収集・保存し、研究や展示を通じて後世に伝えていくことを目的に設立されました。

常設展は7つのコーナーに分かれており、唐招提寺金堂組物の実物大模型、五感に響くハンズオン展示などを通して大工道具の魅力をお伝えします。

また博物館そのものが「匠の技の数々を肌で感じてもらえる場」となっており、建物の各所には大工や左官、瓦師などによる伝統の職人技をちりばめました。

シンボリックで自己主張の強い建築ではなく、人と自然をやわらかくつなぐ存在としての「和」の建築を楽しんでいただければ幸いです。

アクセス



山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分
 市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分
 シティ・ループ「12 新神戸駅前(2F)」下車徒歩約3分
 神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」下車徒歩約2分